

特認校 富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより



みらい

旭川市立富沢小学校 No.10 平成26年11月4日 発行

学校教育目標
夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】
かしこい子 (知)
あかるい子 (徳)
ねばりづよい子 (徳)
たくましい子 (体)

【実践の合い言葉】
きたえ ふれあう 富沢っ子

あるものに価値を見だし 良さを生かす

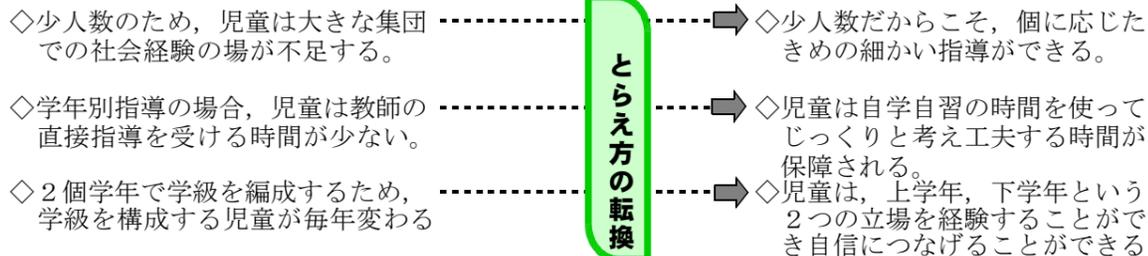
富沢小学校長 松原 博子

遠景に錦織なす紅葉、秋晴れの青空、暖かい日差し。朝からすばらしい天候に恵まれ、ご来賓、地域や保護者・家族の方々、多くの皆様のご来場をいただき富沢小学校学芸発表会の幕を10月19日に開けることができました。無事終了して、会場から出てこられる観客の皆さんの温かい表情と、満足げな児童の顔が印象的でした。児童会テーマ「36人の絆で笑顔満開の学芸発表会にしよう」が達成されたのだなと感じさせる一瞬でした。子どもたちにいただきました多くの励ましに感謝申し上げます。

さて、先日、朝刊の見出しが目飛び込んできました。(35人学級を40人学級に戻す)。驚きました。もう何年間も、学校現場と教育行政が「より良い教育をめざす」ための方策として「少人数学級」を打ち出してきました。それを「財政」の面から逆行しようとしているなんて。ただ、1学級の人数を減らしたから即、良い教育かという、そう簡単に行くものではないことは身にしみているのも事実です。

本校は、「少人数できめの細かい教育を行う」ことを主軸においた学校ですが、それなりに、様々な努力が必要でした。少人数であるが故にマイナスの面もありますが、その捉え方を変え、プラスに変える努力を、営々としてきました。

小規模校の課題という、自主的に取り組む「学習意欲」、大勢の前でも堂々とコミュニケーションを取ることのできる「表現力」、確かな学力の定着を見取る「学習評価」にあると感じていました。それ故、学びに積極的に関わる姿勢を育て、自信をもって学びを培うことのできる子どもの育成をめざして全校一丸となって推進してきたのが、富沢の教育スタイルです。小規模・少人数を、プラスの「特性」(個性)と押さえてその良さを伸ばすことに力を尽くしてきました。無い物ねだりをして愚痴よりも、有るものに価値を見出してその良さを生かす「捉え方の転換」が大事だと考えています



「個性を生かす」とは、長所も短所も合わせて認め、短所と思われる面にも視点を当てて、可能性に変える努力をすることです。「だめだ」と言う悲観主義ではなく、「きっと良くなる」と言う希望主義は、個々の子どもに対しても同様に必要なことだと思います。

11月 行事予定



- 生活目標** 読書に親しもう！
- 保健目標** 正しい姿勢を身に付けよう。
- 給食目標** 感謝して食べよう。

日	曜	おもな行事	日	曜	おもな行事
3	月	文化の日	17	月	P T A 読み聞かせ
4	火	教育相談① 児童会	18	火	開校記念日(第115回)
5	水	朝会 P T A 読み聞かせ 学校関係者評価会議	19	水	朝会 クラブ
6	木	教育相談② 国際理解教育(低・高学年)	21	金	市教委指導主事訪問
7	金	教育相談③ 国際理解教育(中学年) 職員会議	23	日	勤労感謝の日 市P連研究大会
9	日	1年生P T A 学年レク 旭川市長選挙	24	月	振替休日 5・6年P T A 学年行事
10	月	教育相談④	25	火	諸費引落日
11	火	集団遊び いこいの家2年	26	水	特認30周年記念事業推進会議
12	水	職員会議 5・6年 校外学習(市議会他)	28	金	ふれあいお楽しみ会
13	木	聾学校との交流会			

感動の連続! 学芸発表会を終えて

19日、今年度の学芸発表会が終了しました。どの学年も趣向を凝らした発表にみんな大満足でした。演じた36名の富沢っ子はもちろん、テーマの通り「笑顔満開」でした。さらに、ご観覧いただいた保護者・地域の皆様、連日熱心に指導し続けた先生方、みんなを笑顔にしてくれました。ありがとう、富沢っ子たち。



1年「長ぐつをはいた猫」



2年「さんぼのジャコウ」



3・4年 ダンスのきらいな王様



5・6年「心の力がちから」



全校合唱「Tomorrow」他



全校器楽「情熱大陸」



P T A「弱くても勝てるなし! Guts in富沢」



P T A「弱くても勝てるなし! Guts in富沢」

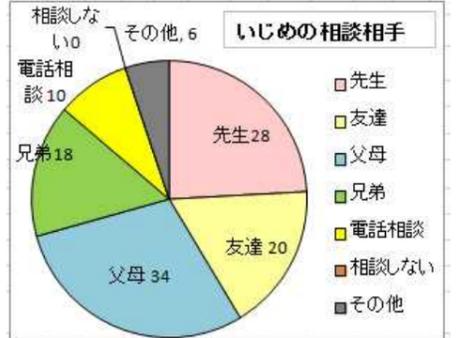
いじめアンケート調査結果(10月)より

今年2回目の「いじめアンケート調査」を実施しました。悪口を言われ、馬鹿にされたことから「いじめられたことがある」と回答した児童が1名いました。(すでに解決済みですが...)

また、「いじめを見た」と回答した児童もいました。他学年の児童のけんかや言い争いをいじめと感じたようです。

『手を離して、目を離さず』は教育の基本です。アンケート調査に頼ることなく、日常の児童観察をしっかり行い、いじめに繋がる小さな芽を早い段階で発見し、摘み取っていくことができるよう今後より一層、指導を充実させて参ります。

いじめの相談相手に関する調査では、前回と比較すると、いじめの相談相手に、「友達」「兄弟」を選んだ児童が増えています。



いじめ「行動宣言」でNHKの番組に応募!

NHK Eテレでは、AKBの高橋みなみさんがMCを務める「いじめをノックアウト!」という番組が放送されています。全校児童一人一人がどうすればいじめをなくすことができるか、「行動宣言」として自分の考えを番組の応募用紙に書き込み、校内に掲示しました。12月末に番組に応募します。

いじめの実態のあるなしに関わらず、日ごろから子どもたちの「いじめ」に対する意識を高めるためには、学校として未然防止のための取組を継続していくことが必要です。家庭でも親子で「いじめ」について話し合う機会をもっていいただければと思います。

ライオンeライブラリ インターネットで家庭学習を



10数年前から、旭川市内すべての学校の児童用コンピュータに学習ソフト「eライブラリ」が導入されており、日常の学習指導でもその活用を図ってきたところです。

この度、家庭連携システムが強化され、先日、プログラムのバージョンアップを終えました。マルチブラウザ対応となり、各家庭のパソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからでも、ログインして活用することができるようになりました。これを機会に、家庭学習でも活用させてみませんか?

アドレス: <https://katei.kodomo.ne.jp> にアクセスし、学校コード(共通)・ログインID・パスワードを入力するだけで、すぐに活用できます。(もちろん無料)

- 全校児童に個別のIDカードと「家庭学習つかいかたガイド」を配布しました。学校コード・ログインID・パスワードが記載されています。※ID・パスワードは外部に漏らさないようご注意ください。
- 現在の学年の学習内容だけでなく、小1~中3まで好きな学年を選んで学習できます。(予習・復習)
- 学習の記録は履歴として残ります。
- 担任の先生から宿題などの連絡機能もありますが、パソコンの有無・使用許可などにより、全校児童すべてが家庭でのパソコンを使える状況にはなっていないようですので、この機能は使用しません。

基礎学力向上のための1つの方策として、より多くの児童が活用してくれることを期待していますので、是非、お子様にご家庭のパソコンの利用を許可していただき、積極的に活用していただきますようお願いいたします。

H26学芸発表会「保護者アンケート」集計結果

H26.10.24(回収 27/27)

A:大変よい B:まあまあよい C:あまりよくない D:改善必要

評価項目	合計人数				達成度	
	A	B	C	D	H26	H25
1 開催時期	24	4	0	0	96	91
2 児童の発表	23	5	0	0	96	99
3 児童の活動	26	2	0	0	98	98
4 全体運営	19	9	0	0	92	93
5 会場設営	17	7	1	3	80	88

達成度:全員「A」評価=100, 全員「B」=評価:75, 全員「C」=評価:25で換算

◆改善が必要と思う内容について◆	学校側の回答
△ 椅子席が増えたこととともよかったと思うが、カーペットが減ったのか人が増えたのか、とても狭く感じました。もう1列増やしてほしい。	■ 予想以上に観客が多かったため、狭く感じられたようです。次年度はカーペット席を増やし、地域の方も座れるように工夫します。
△ 保護者席が狭かったです。	■ 音響効果については、聞きやすさを考え、事前に調整したいと思います。
△ 地域席が離れており、見にくいとの意見があった。椅子よりも床に座るほうがよい方もおり、検討してほしい。学芸発表会前に連続7日間の通学となったが、可能であれば体調面を考慮して、土曜日は休みしてほしい。	■ 前日の休みについては検討していきたい思います。
△ 音響ですが、全体的に音が小さかったように感じました。迫力に欠けたかも…。	
△ 音(CD)が小さいことが多かった。曲出しのタイミングがずれていることが気になった。	

●子どものがんばり・成長ぶりについて●
<input type="radio"/> 毎日、音読の練習で日々上手になっていく姿の成長を感じました。当日の朝は何かと失敗したり、ズボンを後ろ前にはいていたり、本番大丈夫かと心配しましたが、友達とお互い助け合い成功した姿には涙しました。
<input type="radio"/> 5・6年生の劇、ゆきのちゃんの演技のすばらしさに号泣しました。全発表の背景や道具などを見て、先生方がどんなに力を入れて頑張ってくれたかが伝わってきました。
<input type="radio"/> すべての発表において、子どもたちの頑張りがとても伝わりました。皆、自信をもって演技していて、特に5・6年生の演技力には感動しました。今年もよい時間を過ごせたと大変満足です。
<input type="radio"/> どの学年の素晴らしかったです。6年生の劇は感動して泣きました。1年生もセリフが多いのによく覚えていて感心しました。3・4年生はダンスはよかったのですが、セットが寂しかった感じがしました。
<input type="radio"/> 低学年の時は親がいろいろと気にかけてさせていたことが、学年が上がるにつれ、自分でできることは自分でできるようになった。少しずつ成長していることが感じられる学芸会でした。
<input type="radio"/> 1年生～6年生まで、演技力が素晴らしいと思いました。高学年になるにつれて成長が感じられ、素晴らしいと思いました。
<input type="radio"/> 予想以上によさこいが上手に踊っていたので、びっくりしました。
<input type="radio"/> 子どもたちに感動しました。お疲れ様でした。無事終わり楽しませていただきました。
<input type="radio"/> 各学年相手も素晴らしかったです。少人数でも人数が多い学年でも見応えのある構成でした。先生たちの歌もとてもよかったです。PTAの出し物も楽しかったです。ちょっと長かったです。子どもも同じ意見でした。
<input type="radio"/> どの学年もレベルが高く感じました。5・6年生の劇では感動して泣いている方が多数いたようです。
<input type="radio"/> 各個人の成長している姿が見ることができ、驚きました。また、みんなで学芸発表会を成功させる姿や、そのための努力の跡がたいへん感じられました。
<input type="radio"/> 5・6年生の劇とても感動しました。高学年にもなるとすごく上手だなと思いました。全校音楽もよかったです。あと1曲あってもよかったですと思います。3・4年生のよさこいソーラン、かっこよかったです。またみたいです。全学年とても上手でした。
<input type="radio"/> 例年に比べ、合唱の歌いっぷりが物足りなかった。これも成長なのかもしれませんが…。
<input type="radio"/> 高学年の劇には泣かされました。どの学年も一生懸命で見応えがありました。
<input type="radio"/> 心のこもった発表でとても感動しました。
<input type="radio"/> 子どもたちは、みんな堂々と立派に演じていて富沢っ子のたくましさを感じました。先生方のご指導も熱が入っていることがわかり、毎年、学芸発表会は感謝の気持ちでいっぱいです。
<input type="radio"/> 劇の内容が幼すぎる(動物)と本人は言っていたが、本番を見たら、しっかりやれていて、さすが高学年と思った。
<input type="radio"/> 毎年感じるのですが、本当に見応えのある学芸会です。特に1年生のセリフの多さには感心させられました。

■昨年と同様、5つの評価項目だけでなく、お子様の成長や頑張りについても高く評価していただきありがとうございました。会場設営に関する課題は次年度、確実に改善していきたいと思っております。

アンケートへのご協力(回収率100%)ありがとうございました。